

JAきたみらい

おひさま サラダ

2011



vol.107

12

はいっ ポーズ!

《温根湯地区・昭栄》
児玉香織さんと凜ちゃん

(紹介は2ページです)

特集

- 平成23年度
農畜産物を振り返って
- いつもとは一味違う
お楽しみ鍋料理



24時間フル操業

北見市から置戸町へとつながる道々50号線を車で走ると、北海道糖業(株)北見製糖所から舞い上がる白煙が見られる季節となった。

10月20日から操業を開始し、北見、遠軽・紋別地区8市町村から、毎日のように大型ダンプでてん菜が運び込まれた。

同製糖所の集荷区域の作付面積は5,498㌥で、総収量は約26万㌥、平均糖度16.5%前後と昨年を上回ったが、平年作に届かず残念な結果となった。

一時、8市町村で7,000㌥以上の作付けをされていたが、

年々減少の一途を辿っている。不透明な農政に加えてTPP問題、地球温暖化問題、砂糖消費の伸び悩みなど厳しい環境にある。

北海道農業、あるいはオホーツク農業の畑作の輪作体系上、てん菜は欠かせずことの出来ない重要な基幹作物だ。そのためにも、国政、消費者などに声を発したアピール活動が今、必要とされている。

【写真は11月14日撮影。北見製糖所では日量3100～3200㌥の原料を処理し、砂糖の生産量は4万㌥ほど見込まれ、ほのぼの印の上白糖、グラニュー糖、オリゴ糖などが商品化されています。是非、自らの消費拡大と外に目を向けたアピールに努めましょう】

季節の薫り



表紙紹介

健康で優しい子に

1歳2カ月になり言葉も少しずつ話すようになった凛ちゃん。名前を呼ぶと「ハイ」、年を聞くと「1つ」と元気に応えてくれます。

生まれてから風邪も引かず、病院通いもなく元気な凛ちゃんにお母さんは、「健康で優しい子に育ってほしい」と話してくれました。

凛ちゃん、風がちよっと冷たかった中、可愛い笑顔を表してくれてありがとう！

少し仲良しになってから写真を撮ろうと思い、お母さんやお父さん、おばあちゃんに取材。伝い歩きを始めた凛ちゃんは、ボール蹴りや積み木遊びをしています。

テレビに「いないいないばあ」や「英語であそぼう」、そしてCMが映ると真剣に見入っています。

11月28日、約束の午後1時半に児玉さん宅に到着。おばあちゃんの美代子さん、お父さんの清貴さん、お母さんの沙織さん、おばあちゃんのおじいちゃん、お母さんの香織さんに抱っこされて凛ちゃんも降りて来ましたが、凛ちゃんは、「どこのおじさん！」という不思議そうな顔をしていました。



【ご家族紹介】

左から～お父さんの清貴さん（35）と凛ちゃん（1）、お母さんの沙織さん（27）、おばあちゃんのお美代子さん（61）、おじいちゃんのお清貴さん（60）

児玉さんは玉葱、秋小麦、高級菜豆などを作付けしています。



もくじ CONTENTS

特集①

平成23年度
農畜産物を振り返って

4

特集②

いつもとは一味違う
楽しい鍋料理

10

○季節の薫り……………2

○表紙紹介……………2
「健康で優しい子に」

○JAきたみらい
ホットライン東西南北……………12

○ほのぼのの広場……………16

- ・きたみらいのホープさん
- ・思い出の写真
- ・マイティスト
- ・「船釣り」
- ・私のパートナー
- ・わが家のアイドル
- ・大きくなったら
- ・おらがまちのおしどり夫婦
- ・まちがいさがし
- ・読者の声

○青年女性ネットワーク……………20

○JAからのお知らせ……………22

- ・TPP交渉参加断固反対
- ・2011スノーマーチフェスタ

○おひさまサラダクッキング……………28

- 「カジキとアサリのみそトマト煮こみ」
- 「おろしニンジンのかきたまスープ」

特集

平成23年産

農畜産物を振り返って

平成23年も、20日余りで幕を閉じます。春の植付けは平年より若干遅れはしましたが、順調に終わりました。しかし、降雹、断続的な降雨、多湿、台風などにより、きたみらい地域の農業に大きな影響を与えた1年であったと言えるのではないのでしょうか。

平成23年度の農畜産物を特集として、振り返ってみたいと思います。

水 稲

作況指数

121の豊作

移植時期は平年並みで、5月24日から始まり、概ね6月3日で終了し

ました。その1週間後、降雹に見舞われましたが、水稲は被害を受けることはありませんでした。

6月下旬に3日間、急激な低温となりましたが、幼穂形成期後は高温多照で経過し、生育の遅れた圃場においても回復が見られました。

出穂・開花は順調で不稔は

平年の半分程度となり、8月下旬から9月上旬も高温で経過したこと、登熟期は9月11日で平年より5日早く、収穫は9月15日に始まり、9

2年連続の豊作

きたみらいもち米振興会
会長 横島 忠雄

今年は春の降雪被害、湿害、夏の干ばつ、収穫期の長雨など苦勞の多い年でしたが、被害などに遭われた組合員皆様に心よりお見舞い申し上げます。

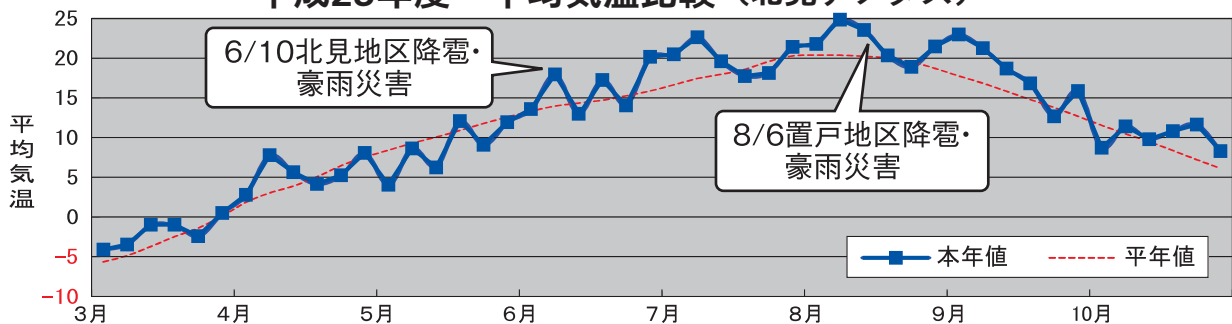
その中、水稲においては作況指数で昨年を上回る121と2年連続の豊作となりました。「はくちょうもち」反収613^{kg}、製品歩留まり86.4%。「きたゆきもち」596^{kg}、91.8%と収量・品質において大変満足のいくものとなりました。特に「きたゆきもち」では一部、いもち病などの発生で網下がやや出たものの、色下2.6%と品質の特性が発揮されたのではないかと思います。今年から始めた「ドリフト」の収穫前検査におきまして、コンバインの運行、乾燥、調整など大変ご苦勞をお掛けしましたが、「安心・安全」なもち米生産に今後とも各生産組織、関係機関と協議を進めて参りたいと思います。最後になりましたが、生産者皆様の1年間のご努力と関係機関のご指導に感謝申し上げます。今年も残り僅かとなりましたが、お体に気をつけて新年をお迎え下さい。

月27日に終了しました。作柄は7月以降、平均して高温で推移したこと、稲数、1穂粗数が平年より10%程度多く、総粗数では119%と高い数値となりました。また、昨年の大発生した「いもち病」については、各地域で発生が見られましたが、適期防除に努め、被害の拡大に至りませんでした。

品 種	10a反収	等級	製品歩留	色下歩留	網下歩留
はくちょうもち	614kg	1等	91.2%	8.5%	3.0%
きたゆきもち	596kg	1等	88.6%	3.1%	5.6%

品質面では、両品種とも青未熟、着色粒は少なく、白度ではきたゆきもちが高く、サビ粒が少なく製品歩留りが高くなりました。

平成23年度 平均気温比較（北見アメダス）



項目	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	積算
本年(℃)	-1.9	5.6	8.7	16.0	20.0	21.8	18.1	10.2	2,591.5
平年(℃)	-3.0	4.7	10.5	14.6	18.4	19.9	15.3	8.9	2,413.8
差(℃)	1.0	0.9	-1.8	1.4	1.6	1.9	2.8	1.3	177.7

※各月の数値は平均値。
積算は5月から9月の合計値。



「きたほなみ」 全面移行

きたみらい麦作振興会
会長 高谷 勲

本年は「ホクシン」から「きたほなみ」に全面移行され、生産者も増収に期待を大きく膨らませました。

融雪は例年より早まりましたが、4月末から5月初旬の天候不良により出穂期が遅れました。6月以降は高温に推移しましたが、7月にはニバーレの蔓延により登熟が早まり細麦傾向となりました。10^ア当たりの反収は、平均559^キで歩留まり80.2%、1等Aランクで前年を大きく上回る結果となりました。

昨年より統一処理体制が整い、効率的に収穫ができました。乾燥調整料も850円程度に抑えることが出来、関係各位に心より感謝申し上げます。

期待されたきたほなみは残念な結果に終わりましたが、本年の結果を踏まえ、今後の生産活動の糧とし、24年産麦の良質麦生産のための更なる努力を重ねて参ります。

T P P交渉参加により麦を取り巻く環境は、大変厳しいものがありますが、きたみらい農業にとり欠くことの出来ない作物であり、阻止のための運動に努めて参ります。

麦 類

秋まき小麦

出芽は平年より6日遅れで、茎数が少ない状況でした。起生期は4日早く、雪腐病の被害も少なく、5月中旬から6月上旬は低温の影響もありましたが、出穂期で大きな被害とはなりませんでした。
7月中旬頃は、低温寡照で成熟期は平年並みで、収穫は7月29日から始まりました。

4項目クリア 全量Aランク

本年の収量は茎数不足、赤かび病（ニバーレ病）、連作障害などから昨年に続き細麦粒が多く、製品歩留が低い結果となりました。
10^ア当たり製品で449^キ（前年411^キ）、1等比率80・2%となり、きたほなみ本来の収量を発揮することは出来ませんでした。
品質においては灰分、たんばく、容積重F・Nとも基準値内ですべて

春まき小麦

において4項目クリアとなり、全量Aランクとなりました。

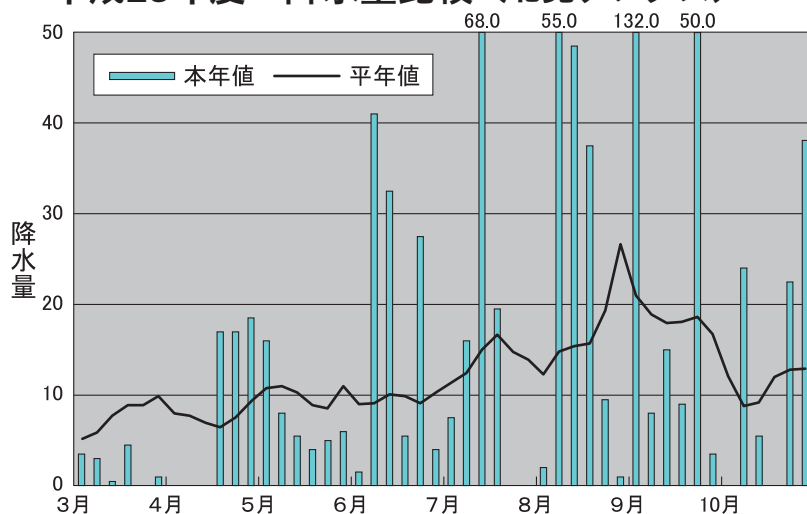
播種作業は平年より10日早い4月13日から始まりましたが、4月下旬からの低温などの影響から生育は遅れ、幼穂形成期ではほぼ平年並み、出穂期で2日遅れとなりました。
その後、7月下旬から8月中旬の高温により、収穫は8月8日から始まりまし

た。
収量は平年より低く、10^ア当たり389^キでしたが、製品歩留りが高く345^キで、1等比率88・5%となりました。
品質でも全てが基準値をクリアして全量Aランクとなりました。



▲道産小麦で作られたピザパン

平成23年度 降水量比較（北見アメダス）



項目	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	積算
本年	13	53	45	112	111	154	218	90	639
平年	47	46	61	58	84	104	111	68	418
差	-34	7	-16	55	27	49	106	22	221

積算は5月から9月の合計値。

てん菜

圃場格差の 大きい年

播種作業は平年並みに始まり、出芽は良好に推移しました。移植作業は、平年並みに始まりましたが、悪天候が続き移植作業の終了は5月22日となりました。

生育は断続的な降雨の影響と6月の降雹と豪雨により、一部地域に被害が出るなど、湿害の影響を受けた圃場に生育の停滞がありました。

病害虫の発生は平年より少なく推移しましたが、生育後半に褐斑病が

発生しました。

今年度の集荷作業は早出しがなく、昨年より2日遅い10月20日よりスタートし、輸送期間中比較的天候に恵まれ、順調に輸送することが出来ました。収穫量は圃場格差が大きく、特に湿害を受けた圃場は低収量となりました。

平均収穫量は10㍗当たり4.9㍗、糖分は16・4%の見込みとなっています。

豆 類

降雨の影響で 品質低下

播種作業は平年並みに行われ、出芽も良好でしたが、6月中旬以降の断続的な降雨により湿害を受けた圃場が見られ、生育は停滞しました。

生育期は天候に恵まれ、平年並みの開花となりましたが、収穫期に入り降雨日が多く、収穫に苦労した年となりました。

圃場での発芽や、金時豆の色流れ、腐敗などが発生、特に白系の白花豆、大福豆に斑点が付くなど大きく品質

が低下しました。

収量は圃場間格差がありましたが、大豆4俵、小豆4.1俵、大福4.3俵、白花生3.6俵、紫花生3.7俵の見込みとなっています。



湿害対策を講じて 高品質・高収量を

きたみらい豆類振興会
会長 越智 孝 司

今年の豆類は、播種作業も天候に恵まれて順調に進みましたが、6月10日の広範囲にわたる降雹と大雨、その後も幾度かの強い雨などにより湿害の影響を受け、全般的に品質の低下と収量減、こうした状況で白花生は特に品薄状態と聞いています。

生産者側から見ると、高値販売で取り引きされることは好ましいことですが、消費量より生産量が少ないことによる輸入品への移行と消費低迷に拍車掛けることを危惧するものです。どの作物も高品質・高収量を目指すためには、湿害対策は欠かすことは出来ないと、改めて思い知らされた年でした。

最後になりますが、明年も会員皆様には健康で良い出来秋を迎えられますようご祈念申し上げます。



2年連続の 低収・低糖

きたみらいてん菜振興会
会長 瀬口 俊 行

昨年の過去最低に近い収量を挽回しようという決意のもと、本年をスタートさせましたが、春耕期の悪天候や成育中の湿害などに悩まされ、個人差、圃場差が現われ、総じて低収・低糖となりました。会員各位の日々の努力に敬意を表する思いですが、2年続けての低収量に落胆しているところです。

一方では、作付面積の減少に歯止めがきかない情勢が続いている中、国政のTPP交渉参加による農業政策が大きく転換されようとしている状況であります。北海道農業の基幹作物、輪作作物として欠かせないてん菜が安定して作付け出来ることを切に願うものです。来年も会員皆様と共に、健康で出来秋を迎えられることを心から祈念致します。

特集 平成23年産 農畜産物を振り返って



明日に向かって がんばろう！

きたみらい玉葱振興会
会長 会田 貢

本年の定植は順調に始まりましたが、5月に入り断続的な降雨の影響で定植が遅りましたが、連休明けは好天に恵まれ、再び定植がスタートし、会員皆さんの努力によって平年並みの定植を終えることが出来ました。

6月に入り「さあ～これから……」という10日、きたみらい管内広範囲に及ぶ突然の雹害に見舞われました。被害に遭われた生産者各位に心よりお見舞い申し上げます。また、降雪と合わせ大量の降雨から停滞水の圃場も見られましたが、会員皆さんの肥培管理などの努力から生育も順調に進み、収穫期を迎えることができ、収穫作業も概ね好天に恵まれたなか平年並みに終えました。

日本経済の減退もあり販売を危惧しましたが、他産地において降雨による定植遅れ、さらにその後も断続的な多量の降雨から収量が著しく低下し、道産玉葱の生産量は平年以下となり、販売当初は各産地の出荷遅れにより好価格に推移しました。

しかし、10月中旬、道内各産地が一斉の出荷開始と並行して、大量の輸入玉葱とも相成り市況は厳しいものとなっています。私どもきたみらい玉葱生産者は、昨年の教訓を心に刻み、本年の玉葱生産に取り組んで参りました。その結果、道内最大産地としての責務を果たすことが出来ましたが、これも偏に会員各位の前向きな姿勢と努力の賜物と考えます。

今後の国内玉葱販売環境を考えると、昨年から続いている大量輸入品による市場の圧迫が懸念されます。この様な時こそ、会員及びJAきたみらいが一丸となって、玉葱生産に頑張らしましょう！

玉葱

高温・早魃で 規格が中心

全道では386トン減少して11,841トン、きたみらいの作付面積は3,988トン(雹害除く)となりました。

植付け開始は、昨年同様に始まりましたが、4月下旬から5月連休にかけて断続的な降雨により、作業は一時中断しました。連休以降も順な天候が続き、作業終了は5月下旬まで続きました。

5月中旬より天候が回復し、生育は順調に推移した中、6月10日の広範囲な雹害及び断続的な降雨によって、生育は一時停滞しましたが、そ

の後の天候回復により、植付け遅れによる生育遅延を挽回することが出来ました。

7月の中旬にかけて、気温が上昇し降雨が少なくなると肥大期に厳しい生育環境となりました。この様な中、8月上旬には中晩生が短期間で倒伏し、その後も高温が続き肥大は抑制されました。

収量は他産地の植付け時期の遅れ及び早魃傾向により、全道平均107当たり4,650kgと過去平均を750kg下回る見込みとなっています。

品質は早出しで良好、乾腐病・芯腐れの発生も少ないことから、荷動きは良くスムーズな販売開始となりました。中晩生も良好で、特に外品・クズの発生が少なく、正歩留りの高い状況となっています。7月中下旬以降の高温・早魃により、規格の多い選果比率となっています。販売は、府県産の単価安による後ずれ出荷により、約1,300円/20kgのスタートとなりましたが、他産地が収穫時期の断続的な降雨により、出荷ペースが上から十分に消費地へ供給出来ませんでした。

さらに台風による輸送の乱れもあり、2,200kg、2,300kg、300kg/20kgと価格が上昇した経過にあります。しかし、10月中旬以降、道内産地の出荷量増加、一般野菜価格低迷、消費地の気温高、消費低迷など現状は

◆11月15日現在改装状況 選果基数(一般) 53,313.0基(前年同期53,197.1基)

	2L	L大	L	M	小計	長玉	加工	S	屑	合計
23年産	3.3%	33.8%	41.6%	12.1%	90.8%	0.2%	5.8%	1.2%	2.0%	100.0%
22年産	1.2%	28.8%	44.5%	11.2%	85.7%	0.5%	7.7%	1.0%	5.1%	100.0%

◆11月15日現在 北見地区共計単価1,916.42円(前年同期2,550.09円)

◆作付生産概要 (10月10日現在)

		作付面積 (ha)	10a収量 (kg)	生産量 (t)	商品化量 (t)
H 23	全 道	11,841	4,650	560,500	499,360
	きたみらい	4,338	5,430	216,606	193,879
H 22	全 道	12,227	4,630	566,040	481,620

◆系統販売計画 (10月10日現在)

	生 食				加工向け (JA扱含む)	年産合計
	合 計	年内計画	年内進捗	年明計画		
23 年 産	328,760	206,300	62.7%	122,460	91,560	420,320
22年産実績	286,530	179,500	62.6%	107,030	120,840	407,370

厳しい販売となっています。輸入については、昨年同様に入荷量は多い状況となっています。但し、量販店での販売は少ない状況です。今後については、適正選果の徹底と消費地及び輸入動向を見極め、全道足並み揃った対策を取り進め、北海道玉葱の売り場を確保し、市況作

共計男しゃく改装状況(11/15現) 選果基数11,760基(前年同期12,219基) 単位:10kg

	3L	2L	L	LM	M	S	小計	空洞	B品	屑	合計
1基当C/S	0.6	6.2	34.3	21.9	38.6	18.1	119.7	0.8	15.2	3.9	139.6
比率%	0.3	4.4	24.7	15.7	27.6	13.0	85.7	0.6	10.9	2.8	100.0
前年比率%	0.4	5.8	29.1	15.6	20.9	9.0	80.8	3.1	13.6	2.5	100.0

馬鈴薯

平年を

下回る収量

植付け作業は融雪が順調に進み、例年より早めの作業開始となりました。その後、低温と周期的な降雨から畑作全般で作業が後ずれし、平年に比べ1週間程度遅れて終了しました。

道内の本年産馬鈴薯の作付面積は29,121haと前年との比較で705ha減少。

年々作付面積の減少が続いている男しゃくに加え、特に加工品種で大きく減少。当JA管内の作付面積は2,376ha、前年比99.5%の実績。

植付け後の生育は、5月の低温により萌芽が遅れたものの、6月以降は順調に推移し、平年並みに生育に回復しました。7月下旬からの干ばつと、8月の高温により塊茎肥大は緩慢に推移し、茎葉枯凋葉進み、玉着きは多かったが、総じて小玉傾向となりました。男しゃくの全道平均反収で3,010kgと平年を大きく下回る見込みとなっています。

が、北見地区は3,130kgを見込んでおり、主産地の中では比較的高い水準となりました。

品質面では、収穫期の断続的な降雨の影響から収穫は遅れ、商品化率の低下が心配されましたが、商品化率は高く選果における正品率も高い状況にあります。

販売環境は、九州産(鹿児島・長崎)の豊作による供給過剰から、市況は7月末まで低迷が続きましたが、8月に入り府県産出荷量の減少と出遅れにより、市場出回りが少ないことから市況は回復し、L1,500円中心でのスタートとなりました。

加工馬鈴薯の販売環境については、震災・節電など影響によりコロッケ・ポテトサラダ業界、チップス業界が総じて末端消費の低迷、さらに供給不足の年産が続いたことに加え、本年産の生産量が平年を下回る見込みから、加工向け原料は総じて供給不足が見込まれています。

今後の販売については、気温低下に伴い、消費の拡大が見込まれますが、震災と原発の影響による消費マインドの低下などの不安要素と、九

州産秋馬鈴薯の作柄が豊作状況にあるなど、販売環境は楽観視出来ない状況にあります。

府県産馬鈴薯の動向に注視し、最終販売まで見据えた数量のコントロールを図った中で、さらに価格浮揚を目指して参ります。

生乳

23年産の生乳生産目標は、全国的な生乳供給量と生乳需要量の両方が減少する予測から、乳製品在庫はさらに減少する見通しにおいて、北海道は22年度実績数量に対し、102%の伸び率の数量が設定されました。前年と同様に今年度についても、需要動向を踏まえた計画生産並びに生産基盤の維持などを勘案し、0.5%のアローワンスが設定されました。

乳価の引き上げと生産量の回復

昨年夏の猛暑影響で、生乳生産は10月に入り、今までずれ込んだ分娩が本格化したことで、ようやく回復基調に転じました。

府県の生乳道外移出は大幅に増加、さらに生クリームなどの需要拡大もあり、加工向けは大きく減少し、バターの需給は逼迫。今後は増産が期待されています。

プール乳価は、チーズ向けや生ク

産地としての役割を

きたみらい馬鈴薯振興会

会長 南 博 敏



近年異常気象が続いている中、かつてない広範囲にわたる降雪、自然相手の農業の厳しさを更に思い知らされた1年であり、降雪の被害に見舞われた生産者の皆様方に、心よりお見舞い申し上げます。馬鈴薯においては、本年の気象経過の中での栽培管理や収穫時期の降雨などで、大変苦労した中で出来秋を迎えられたことは、生産者個々の努力の賜物と思います。農業を取り巻く環境は、政府の大幅な農業政策の転換、TPPへの交渉参加表明など農業の自由化に大きく舵を切ろうとしているなど、極めて先の見えない状況にあります。これらの状況を踏まえて、昨年より協議を重ねていた馬鈴薯施設整備について、一定の方向性が見出されました。馬鈴薯は基幹作物としての重要性は言うまでもなく、他産地の競争に勝ち抜き、消費地への良質安定供給責任を果たすためにも施設整備は重要であります。生産から販売までの物語性のある「きたみらいブランド」、「食への安心」、「心のこもった食材」としての消費者のニーズに応えた「選ばれて顔の見える産地」を役割として取り組んで行く必要があると考えます。農業を天職として、生産者の皆さん共に頑張りましょう！

特集 平成23年産 農畜産物を振り返って



増産に向けた取り組みが

きたみらい酪農振興協議会
会長 越智 孝

本年度は昨年の記録的猛暑の影響が残り、7～9月に分娩が集中するという事で酪農家は備えを万全に夏を迎えました。幸にも昨年のような暑さにはならず、9月以降徐々に乳量は回復傾向にあります。

生産資材コストが高止まりする中、十分とはいえないまでも2円20銭/kgの乳価値上げが実現し、生産意欲を刺激してくれてはいますが、牛舎施設の老朽化、投資資金の不足など中々増産出来ないのが、きたみらい酪農の現状であります。

一方で昨年、世に出した「きたみらい牛乳」は順調に本数を増やしていますし、「哺育育成センター」においても、関係役職員の努力で良好な運営が成されています。

全道共進会ではグランドチャンピオンを始め、チームきたみらいとして素晴らしい成績を残しました。世の中はTPP、消費税増税等経営意欲を減退させるような話題が多い中、当協議会としましては、管内JA別出荷乳量1位の死守、10万t突破を目指して活動して参ります。

乳用牛価格は、目標乳量が高く設定されたことや、一昨年の資源不足

価格やや強み

乳用牛

近年、多発する伝染病から、より一層の衛生対策が求められている現

JAとしても酪農家の求めに対応すべく、生産技術や経営指導を実施し、各種情報の提供に努めて参りました。さらには生産基盤の強化と生産性の向上に資することと、飼料自給率の向上を目的に、牧草品質向上奨励対策事業や地域粗飼料資源活用事業を実施しています。

リムなどの用途別価格が改正されたことから、2円20銭程度の引き上げとなりました。

状態を踏まえ、畜舎環境改善向上対策事業も今年度新たに、きたみらい独自事業の組み換えを実施しています。きたみらい牛乳は今年2年目となり、Aコープ置戸店での販売や温根湯ホテルの朝食用牛乳として定期利用されるなど、地産地消として大きな役割を果たしてきています。

衛生的乳質は猛暑の影響を受けた昨年を上回る状況にあり、来年度に向けた生乳生産基盤の強化が求められている状況にあります。



悪循環の1年

きたみらい
和牛生産組織協議会
会長 島尻 勝

昨年、宮崎県で発生した口蹄疫も治まり、年明け2月には清浄国となった中、素牛価格も徐々に好転し、安堵したところです。しかし、東日本大震災の発生による福島原発事故の風評被害、牛肉食中毒事件、安愚楽（あぐら）牧場問題などにより牛肉消費が低迷し、枝肉価格がA5ランクでも2,000円/kgを下回る状況が続く、素牛価格が低迷しました。

さらに追い打ちを掛けるかのようにTPP問題が浮上し、畜産農家にとって不利な要素が続出し、経営を圧迫する状況が続いているのが実態です。当協議会としては、希望を捨てず、将来に向けて良質な繁殖雌牛発育、血統はもちろん高育種価、高体格得点の牛の確保を目指し、肥育農家に喜ばれる素牛生産に日々頑張っています。

来年こそ、今年より高値販売にしたいものです。2012年が皆様にとって良い年であることを切に願います。

東日本大震災の影響や生食事件に始まる食肉業界への風評被害に加え、

景気の回復の兆しが一向に見えない中、マルキンや肉用子牛補給金が発動されている状況から安値が続いています。食肉消費量自体の大きな変動はない中、安価な食肉として引き合いの強い「豚・鶏」の相場は堅調に推移していることから、牛肉については厳しい状況が続くと予想されます。

肉用牛

販売動向は不安定

ホル雌選別腹も注文が増えているますが、出回りが少なく手当が難しい状況にあります。

生乳生産実績

区分	目標数量(t)	22年度実績比	23年4～10月数量(t)	進捗率
全道	3,860,920.0	102.0%	2,216,147.0	57.4%
管内	568,743.2	102.1%	326,634.7	57.4%
きたみらい	93,182.7	102.0%	53,861.9	57.8%

衛生的乳質実績（23年4～10月）

（単位：%）

項目	全道	管内	きたみらい
生菌数 (1.4万以下)	98.7 +0.1	98.7 +0.7	98.7 +1.0
体細胞数 (30万以下)	98.1 +0.3	96.9 0.0	98.3 +0.6

セシウム問題などにより、牛肉離れが進み販売動向は不安定な状況で推移すると予想されます。

ブリと 焼きネギのおろし鍋

【調理時間30分 カロリー 507kcal】

大根おろしは、脂の乗ったブリと相性抜群。たっぷり1/2本分のダイコンを加え、ユズを利かせて、冬のおいしさを食べ尽します。ブリとネギはグリルで香ばしく焼いてから煮るのがポイント。餅と生揚げも加えた、ボリュームのある一品。



【材料～4人分】

ブリ（切り身） 4切れ（400g）
A⇒しょうゆ 大さじ1 酒 大さじ1
生揚げ 1枚（200g） ネギ 3本
切り餅 4個
B⇒だし カップ4 酒 カップ1/2
しょうゆ 大さじ1～1/2
みりん 大さじ1 塩 小さじ1
ダイコン 1/2本（500g）
ユズの皮（千切り） 1個分

【作り方】

- ①ブリは食べやすい大きさに切り、Aで下味を付けます。生揚げは熱湯を掛け、油抜きをします。縦半分に切り、端から7～8mmの暑さに切ります。
- ②ネギはグリルに入る長さに切ります。餅は半分に切ります。
- ③ネギと餅はそれぞれ、グリルで軽く焦げ目が付くまで焼きます。続いて、ブリをペーパータオルで拭き、両面をさっと焼きます。
- ④ダイコンはすりおろし、ざるに上げて水気を切ります。
- ⑤鍋にBを入れ、火にかけます。温まったら3～4cmの長さに切ったネギ、ブリ、生揚げを加えてさっと煮ます。大根おろし、餅を加え、ユズの皮を散らします。



いつもとは一味違う
お楽しみ鍋料理

エスニック鍋

【調理時間20分 カロリー 153kcal】

【作り方】

- ①エビは尾を残して殻をむき、背わたを取ります。イカは胴から足を外し、胴の中の内臓を取ります。足は食べやすい長さに切り、胴は皮をむいて1cm幅の輪切りにします。
- ②ハクサイはざく切り、シイタケは軸を取って5mm幅に切ります。ニラは5cm長さ、ネギは5cm長さのぶつ切りにし、縦半分に切ります。
- ③ショウガは皮をそいで薄切りにします。ニンニクはすりおろします。赤トウガラシは半分に切り、種を取ります。
- ④フライパンに油を熱し、③を弱火で炒めます。香りが出たら、ハクサイ、シイタケ、を加えて、ざっとひと混ぜし、土鍋に移します。
- ⑤Aを加えて中火にかけ、ひと煮立ちしたら、エビ、イカ、残りの野菜を加えます。あくを取りながら3～4分煮て火を止め、仕上げにプランナーを加えます。

ショウガ、ニンニクの香りが食欲をそそり、エビとイカのうま味がたっぷり詰まったピリ辛スープがおいしいエスニック鍋。仕上げにナンプラーを加えるだけで、手軽にアジアテイストが楽しめます。

【材料～4人分】

エビ 8尾 ヤリイカ 2杯（300g）ハクサイ 4枚
シイタケ 4個 ニラ 1束 ネギ 1/2本
ショウガ 1かけ（10g）ニンニク 1片 赤トウガラシ 1～2本 ごま油 大さじ1
A⇒固形スープのもと 1個 水 カップ6
ナンプラー 大さじ2



寒い冬といえば、何といっても鍋料理です。定番の鍋料理も良いと思いますが、今夜はちょっと気分を変えて、一味違う鍋料理を楽しんでみませんか。おいしくて栄養も満点。きっと家族の会話も弾みます。
レシピ提供…ベターホームのお料理教室

野菜たっぷりプルコギ

【調理時間30分 カロリー 428kcal】

色とりどりの野菜がたくさん食べられ韓国風すき焼き。ネギとニンニク入りの甘めのしょうゆだれをもみ込んだ肉は、とってもジューシー。うま味たっぷり煮汁を吸った春雨も美味。すき焼き用の鉄鍋で作りますが、なければ大きめのフライパンで代用できます。

【材料～4人分】

牛肩ロース肉（焼き肉用） 300g
A⇒ネギ 1/3本 ニンニク 1片 砂糖 大さじ2
 しょうゆ 大さじ4 酒 大さじ2
 いりごま（白）大さじ1 こしょう 少々
 ごま油 大さじ1
 ニンジン 1本（200g） タマネギ 1個（200g）
 ニラ 1束（100g） シイタケ 1パック（10個）
 ごま油 大さじ1 春雨 50g 水 カップ1/4

【作り方】

- ①ネギはみじん切りにし、ニンニクはすりおろします。
Aを合わせて、大さじ2は取り置きます。残りは肉にもみ込み、15分以上置きます。
- ②春雨は表示通りに戻します。約15cmの長さに切ります。
- ③ニンジンは1cm幅、4～5cmの長さの短冊切りにします。タマネギは7～8cm幅、ニラは4～5cm長さに切ります。シイタケは石突きを取り、4等分にします。

ます。

- ④鍋にごま油大さじ1を熱します。肉とタマネギ、ニンジンをを入れて炒め、野菜がしんなりしたら、シイタケを加えて炒めます。
- ⑤具を鍋の片方に寄せ、空いたところに、ニラと春雨を加えます。分量の水と残りの**A**を回し掛け、汁気が少なくなるまで煮えます。

カニとタラのイタリア鍋

【調理時間40分 カロリー 405kcal】

手軽にトマト缶を使い、ニンニク香りと魚介のうま味が詰まったスープでたくさんの野菜を煮込むイタリア風鍋。残ったスープには、パスタを入れたり、ご飯を入れてリゾット風にしてもおいしい。

【作り方】

- ①カニは甲羅を外し、大きく4つ割りにします。
- ②赤トウガラシは半分に切って種を取り、ニンニク1片はみじん切りにします。フライパンに油大さじ2を熱し、赤トウガラシとニンニクを炒めて、香りが出たらカニを入れて炒め、ブランデーを振ってアルコール分を飛ばします。
- ③タラは1切れを3～4つに切ります。
- ④芽キャベツは根元に十字の切り目を入れ、小タマネギは皮をむきます。鍋に湯を沸かし、それぞれかためにゆでます。
- ⑤ニンニク、タマネギ、パセリ、セロリはみじん切りにします。
- ⑥鍋に油大さじ1を熱し、ニンニク、タマネギを炒めます。トマト缶、パセリ、セロリを加え、トマトの実をつぶしながら混ぜます。煮立ったら弱火にして5分ほど煮ます。スープ、塩、こしょうを入れて、強火で煮立てます。
- ⑦かに、タラ、④を入れて、煮立ったらあくを取ります。弱火にしてさらに20分ほど煮て、塩、こしょうで調味します。

【材料～4人分】

ワタリガニ 2杯（600g） ニンニク 1片
 赤トウガラシ 1本 サラダ油 大さじ2
 ブランデー 大さじ1 タラ 3切れ 芽キャベツ 12個
 小タマネギ 8個 ニンニク 1片
 タマネギ 1個（200g） パセリ 1枝 セロリ 1/2本
 トマト水煮缶詰 1缶（400g） サラダ油 大さじ1
 スープ（水＋スープのもと適量） カップ3
 塩 少々 こしょう 少々



収穫に感謝して もちつき大会

～収穫祭に
会員や父母など70名参加～

AINONAI

相内



▲大きな杵を持ってもちつきを楽しむ会員

相内地域ジュニア4Hクラブ（北町靖支援父母の会長）は11月19日、西相内多目的地域会館で収穫祭を行いました。

収穫祭には会員と父母、北見市、網走農業改良普及センター、JA職員など約70名が出席しました。

会場には、今年の播種作業から収穫作業、夏のふるさと見学会の思い出の写真が展示され、1枚1枚の写真にシツと見つめながら活動を振り返っていました。

収穫祭ではもちつき大会、どん菓子作り、締めめ作りを楽しんだ後、収穫した野菜で作ったシチューや焼き肉を味わいながら、会員間の親睦を深めました。

▼街頭で交通安全を呼びかける部員のみなさん



OKETO

置戸

ドライバーに 「交通安全」呼びかけ

～交通安全街頭啓発に
部員9名が参加～

女性部置戸支部（斉藤のり子支部長）は11月1日、JA地区事務所前で交通安全街頭啓発を行いました。

街頭啓発は毎年、北見警察署置戸駐在所の協力を得て行われています。

今年も部員自らが栽培した玉葱やジャガイモを持ち寄り、一つひとつ袋詰めして70袋が出来上がりました。

朝からポカポカ陽気のなか、啓発

運動に参加した部員9名は「法定速度で走って下さい」や「安全運転でお願いします」と呼びかけ、玉葱などが入った袋をドライバー一人ひとりに手渡しました（写真真）。

思いがけないプレゼントにドライバーは「はい！」と笑顔で安全運転を誓い、目的地へと向かいました。

施設見学と 懇親会で交流

～支部間交流に
22名が参加～

ONNEYU



▲グリーンズ北見で玉葱加工処理を見学する部員のみなさん

女性部温根湯支部（仁義直子支部長）は11月22日、留辺蘂支部（春木君枝支部長）と支部間交流を行い、両支部の部員22名が参加しました。（株）グリーンズ北見とハッカ記念館を見学。（株）グリーンズ北見では、上着や帽子、マスクを身に着けて工場内に入り、玉葱の加工工程を見学。

は、部員の皆さんは涙目になっていました。その後、温根湯温泉で参加者全員で懇親会。ビンゴゲームを楽しみ、そして美味しい料理を味わいながら、今年1年の農作業や来年の女性部活動などの会話に盛り上がりました。

東西

▼声を掛け合いエコクラフト作りを楽しむ会員のみなさん



KAMITOKORO



ミニバレーと 手芸教室楽しむ

～秋の研修会に
会員17名参加～

フレッシュミズ上常品支部（吉田由利香支部長）は11月9日、上ところの住民センターとトレーニングセンターで「秋の研修会」を行い、会員17名が参加しました。午前中はミニバレーボール大会、午後からは手芸教室を開きました。手芸教室は、エコクラフトの小物入れ作り。ハサミやボンド、メジャ

ーを使い、順序良く細心の注意を払いながら作業を進めていました。役員の皆さんは、参加者全員が同じ時間帯に完成できるようにと、1人1人に声を掛け、優しく作り方を指導している姿が微笑ましく感じました。会員の皆さんは、完成した作品に「何を入れようかな？」と考えながら、会場を後にしました。

北海道の良さを 改めて実感

～府県視察研修に
部員18名が参加～

KITAMI

北見



▲大同青果で他産地の玉葱を見る部員のみなさん

女性部北見支部（黒須倫子支部長）は11月21日から24日までの4日間、福岡・長崎両県の視察研修を行い、部員18名が参加しました。

福岡市中央卸売市場「福岡大同青果」で、「九州では玉葱や馬鈴薯は年間通して作付けされているが、これは面積が少ないから出来ること」という説明に、部員は「北海道農業のスケールの大きさを改めて感じた」

と感想を話していました。また、バス移動の最中には、窓から見える農園の木々にみかんや柿がなっている様子に興味津々の部員に、ドライバーがバスを停車してくれる場面もありました。

長崎では、階段の多さに驚くなど充実した研修でしたが、最後に「やっぱり北海道がいいね」と笑いあう姿も見られました。



▼エアロビクスに取り組む部員のみなさん



KUNNEPPU

訓子府

カロリーと エアロビで健康体

～女性講座に
部員66名が参加～

女性部訓子府支部（西森美代子支部長）は11月22日、地区事務所で「女性講座」を行いました。部員の健康増進を目的にした講座には、部員66名が参加。

午前は、町役場の清水保健師と五十嵐管理栄養士が講師となって、農繁期に午前9時と午後3時に食べる間食のカロリーなどを勉強しました。

午後からは、北見市内でセラピスなど健康運動を指導する前崎さやこさんを講師に招き「歌謡エアロビクス」を実施。

午前中の研修したカロリー消費量などを考えながらの運動に、西森支部長は「健康づくしの1日でした」と笑顔で話してくれました。

住民の安全を守る 道警本部を視察

～道内視察研修に
6名が参加～

TANNO **端野**



▲白バイ隊など道警機構部署の説明を受ける会員のみなさん

フレッシュミズ端野支部（樺山久美子支部長）は11月24日と25日の2日間、道内視察研修を行い会員6名が参加しました。

初日は北海道警察本部。警官の制服や所持品などの移り変わりなどの説明を受けた後、最新機器が備えられた通信司令塔と交通管制センターを見学し、地域住民の安全な暮らし

を守るために、頑張っている姿を見ることが出来ました。

翌日は、新千歳空港内にあるロイスチョコレート工場を見学。チョコレート製造工程をガラス越しに見学して、子どもから大人までが大好きなチョコレートの歴史に触れることが出来ました。

東西

▼焼き上がったピザパンをカットする部員のみなさん



RUBESHIBE

留辺蘂

焼きたてパンに 思わずニッコリ

～部員12名が参加して
200個のパン作る～

女性部留辺蘂支部（春木君枝支部長）は11月15日、おんねゆ温泉農業交流センター「花えーる」で「パン作り講習会」を行いました。

地場農産物の普及拡大と部員間交流を目的にした講習会に部員12名が参加し、道内産小麦を使ったパン作りに取り組みました。

部員は既に一次発酵された生地を

形成してオーブンに入れると、香ばしい匂いが漂い、「ピザパン」「ウィナーロールパン」「豆パン」の3種類200個が焼き上がりました。

春木支部長は「会話も弾み、楽しい講習会となりました」と話し、さらに「いろいろな野菜をトッピングしたピザパンがおいしかった」と笑顔で話してくれました。

思い出の写真

小麦の天日干し

この写真は昭和50年代後半、お盆もそこそこに家族総出と近所の方々にも協力いただき、2条刈りバインダーで刈り取った小麦の天日干し作業を行っている時に撮ったものです。

当時は、種子用の小麦「ホロシリ」を2畝作付けしていましたが、反収480^{kg}はあったように記憶しています。

刈り取られた小麦を束ね、10束を一山にして10日間ほど自然乾燥させ、その後、脱穀や唐箕（とうみ）

作業を行い、60^{kg}入りの麻袋に詰めた後、検査を受けて農協へ出荷していました。種子小麦は

8月末までの出荷という決まりから、炎天下の下、刈り取り、天日干し、脱穀、出荷と忙しい夏でした。現在は、大型コンバインが刈り取りと脱穀を一挙に行い、そく一箇所の施設で乾燥も行われているなか、奥村さんは「農作業も大型機械によって急速に進歩していることを改めて実感する」と話していました。

しかし、懐かしい写真を見つめながら「近隣農家が協力し合い、10数分の休憩時間はいろいろな会話で盛り上がり、とても情緒があった」と話す言葉が強く印象に残りました。



上常呂地区・広郷

酒井 文雄さん(64歳)



▶取材日に常呂沖で釣り上げたホッケを見せてくれた酒井さん



きたみらいの
ホープさん

ひとつずつ 自分のものに

温根湯地区・昭栄

森部 啓太さん(25歳)

啓太さんは、玉葱、てん菜、春・秋小麦などを栽培している森部雅博さん、愛子さん夫妻の次男で就農して1年目です。

趣味は？

カラオケ、TVゲームです。

結婚はいつ頃までに？

30歳位までには何とか決めたいです。

好きな食べ物は？

ラーメンサラダとオムライスです。

休日とはどんな事をしていますか？

先に部屋を掃除してから、友達とカラオケやご飯などを食べに行ったりしています。

農業に対する抱負を

今は指示されたことしか出来ない自分ですが、ひとつずつ理解し、自分のものにしていきたいです。

農業で実感したことは

やりがいのある仕事であり、やったことはすべて自分に返って来るため、決して手を抜けないと実感しています。

2月号の「ホープさん」は、JAきたみらい青年部訓子府支部の？さんを予定しています。広報編集委員が、突然、取材にお伺いすると思いますが、何卒、ご協力願います。

私のパートナー



今月号の「私のパートナー」は、「将来、子どもたちにお父さんとお母さんの子どもとして生まれたことに喜んでもらえる家庭を築きたい」と話す、須藤潤一さん、智子さん夫妻を紹介します。

子どもたちに 尊敬される家庭

置戸地区・豊住

須藤潤一さん(34歳)

智子さん(30歳)

Q ご結婚されたのはいつですか？

2007年の11月です。

Q 知り合ったキッカケは？

智子さんが働いていたレコーディングスタジオに、潤一さんがレコーディングに行った時に知り合いました。

Q 智子さんの出身地と前職は？

札幌市でヴォイストレーナーをしていました。

Q お互いに感謝しているところは？

潤一さん「結婚してくれてありがとう(笑)」

智子さん「嫁思い、子ども思いのところ」

Q 子ども何人？

3人は欲しいです。

Q どんな家庭を築きたいですか？

子どもが成長した時に、この家族のもとに生まれて育って良かったと思ってもらえる家庭を築きたいです。

【写真紹介】

智子さんの膝に座っているのは、長女のひらはちゃん(9ヶ月)です。



【写真説明】

家族や近所の協力を得て行われた小麦の天日干し作業。畑には、10束を一山にした小麦が長い列を作っています。

訓子府地区・柏丘

奥村 良治さん(67歳)



マイ テイスト

My Taste

船釣り

酒井さんの趣味は船釣りです。紹介している写真(右)は、取材に伺った時、釣りを終えて帰宅した直後に撮ったものです。この日は大漁とはいきませんでしたが、「こんなものでしょう」と、笑顔で成果を見せてくれました。

釣りのきっかけは、20年ほど前に地域の友人から「タコ釣り」に誘われたことです。本格的には4〜5年前に経営移譲してから出かけることが多くなり、今年は20回ほど行っています。酒井さんは「釣り上げた魚を調理して食べたときのおいしさと、大漁のときに親戚や近所などへ配ったときの笑顔が嬉しい」と話し、さらに「大物が餌針にかかり、強烈な引きがたまらない」と魅力や醍醐味を話す目は、とても輝いていました。その中でも、積丹沖で釣った1斤級のブリを釣り上げたときの引きが、今でも強く印象に残っている思い出の一つだそうです。

ホッケ、カレイ、イカ、タコ、タラなどを対象魚にオホーツク海、遠くは積丹沖の日本海まで足を伸ばします。「他に釣ってみたい魚は」と尋ねると、酒井さんは「四国で1週間ほど、のんびりと鯛や鯉を釣ってみたい」と笑顔で話してくれました。



大

きくなったら



端野地区・一区

我妻

陸 聖 菜ちゃん
斗くん

(4歳)(6歳)



洋服ショップの店員

聖 菜ちゃん (左)

私は、可愛い洋服を着るのが大好きです。可愛い服に囲まれて仕事ができる洋服屋さんになりたいです。

あとは、習い事のダンスも楽しいので、これからも続けて行きたいです。

消防士に

陸 斗くん (右)

ぼくが通っている保育園で避難訓練が行われ、かっこよかった消防士になりたいです。

我妻忍さん、美鈴さん夫妻の2人姉弟です。

ほのぼのの広場



わが家の 愛 アイドル



相内地区・美園

不破 希望ちゃん(1歳8ヶ月)

“じいじい!”の言葉に おじいちゃんニッコリ

少し恥ずかしがりやの希望ちゃん、お父さんとお母さんが畑仕事に行っている間は、ひいおばあちゃんといっしょに遊んでいます。

希望ちゃんの大好物は「さけるチーズ」とても喜んで食べます。少しずつ言葉や物事が分かるようになり、最近では「じいじい」と言えるようになって、おじいちゃん大喜びです。

お母さんは「素直で優しい子に育ってほしい」と話してくれました。

希望ちゃんは、不破隆一さん、美絵さん夫妻の長女です。

作夏手に 月には婚と 活回年といひそ 農え一のれ
りは伝移平を感、50結昭をの1もうまし当業、農長た昭
な野い議成振謝互年婚和支回収に土して時に勝業男国和
と菜をし6りしいー。37え穫程収地た約は従山はと徳9年
を始た年つたにを来年てが度穫条が0.5、事小自しさに国徳さん
楽りめ現にてい健迎年にい、で出件、珍畑。・分てんに現在
し、在経いー康え、ま安し来も山の作 中が、は現
ん冬夫、営まとでる節タし達たたあ間米三 学継幼、在
では婦農をし、元国目ツた家。のつのも品 校ぐい7地
い飯揃作勉た長気徳の子。のこはて水作に 卒一時人
ま寿つ業さ。いなさーさ 食の、田つ豆 業とか兄生
すしてのん 年体ん結ん 生13まとて類、後考ら弟ま

とりは徳でラン国く「作初恵さんまれま置戸営
と結さんいン徳現「腰業め結ま手重ツ子
話と婚さんます。テさん是在がののの当ま伝北子
して行50の方す。アさんと余は痛のの初ま結い光さん
いてな年の方。タ活動との暇く植のこと初、婚し、松さん
ました。二を見タ動の野をなくな植と、水、し、家の、昭
だ。人つ子にの菜利用し、やなやから、田の、の、と和
。みでめさん取りりして、稲刈り、の仕、の、と19
たいの「さん組や、は、手、事、作、年
いん「来は組や、は、手、事、作、年

おらがまちの



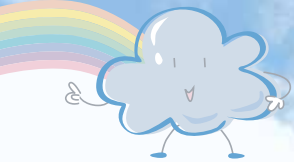
節目の金婚式

おしどり夫婦



置戸地区・安住

安達 国 徳さん(77歳)
タツ子さん(71歳)



まちがいさがし

Bのイラストには、Aのイラストと違う部分が5カ所あります。間違っている部分を右下のイラストの中の数字でお答え下さい。

A



B



11月号クイズの当選者

11月号のまちがいさがしの答えは「1. 4. 7. 10. 11」でした。正解者40名の中から抽選の結果、当選者は次の方々です。尚、抽選はJ Aきたみらいの大坪常務にお願いしました。

()内は支所名

- ・森部 愛子さん(温根湯)・小池エミ子さん(訓子府)
- ・武田恵美子さん(留辺蘂)・北町 晃洋さん(相 内)
- ・有馬 郁子さん(置 戸)・吉田 秀子さん(上常呂)
- ・斉藤 陸夫さん(訓子府)・前沢のみ子さん(北 見)
- ・紺野 佳恵さん(訓子府)・五十嵐心愛さん(端 野)

以上の方々には、きたみらいドレッシング(3本セット)をプレゼントします。



応募方法

答えが解った人は、別紙の応募用紙に答え(番号)と広報誌へのご意見・ご感想を記入してFAXでご応募下さい。抽選で10名の方に、こだわり豆腐屋さんのオリジナル詰め合せセットをプレゼントします。

道 産野菜をテーマに食育で、東京の子供たちに「野菜の魅力や知識」を伝えに直拵行っていることを知り、「すごい!」と思いました。色々な取り組みが実施されていることが解るのは「おひさまサダ」です。これからも色々と紹介して下さい。

(匿名希望)

「食育」は食を生産している現場の人が伝えと、子供たちは真剣な眼差しで聞き入っています。今回、授業を受けた子供たちは、10年後には「きたみらい産」「北海道産」と言って野菜などを買ってくれるものと思います。

ま ちがいさがしの餅つきを見て、子どもがいた頃、餅つきをしたことが思い出されます。今では、すっかり〇〇〇の切り餅、これっていいことなのかな?と思います。

(匿名希望)

昔の餅つきの様にとは言えませんが、せめて地元のもち米を使って、家族ぐるみで餅つきを楽しんでほしいですね。

漬 物も終わり、ハウスなどの後片付けもやっと終わり、今度は家の中でまんじゅうやコロッケを作るのが楽しみです。早いもので今年もあとわずかですね。

(訓子府地区・下地利恵子さん)

まんじゅうはおやつに、コロッケは食卓に飾られるのですか?長い北海道の冬、体のリフレッシュや加工品作りをエンジョイして下さい。

都 会での食育。多くの小学校で行えるといいですね。ジャガイモが「木になっている」などと言わないために。

T P Pどうなのでしょう。心配です。断固反対!野菜、果物、肉、魚などは「北海道産」の目印を見て買っています。

(端野地区・佐藤 信子さん)

食料自給率50%を掲げながら、T P Pに参加して目標が達成できるのか疑問です。地域崩壊となるT P Pは断固反対しましょう。

読者の声

VOICE

女性部

魅力ある 女性部創りを目指して

JA北海道女性リーダー研修会

JA道女性協議会は11月10日と11日の両日、札幌市内のホテルで「JA北海道女性リーダー研修会・家の光大会」を行い、全道から女性部員約560人が集まり、JAきたみらい女性部からも役員11名が参加しました。

全国の農林水産業などを始めとした関係者が一番気になるPPP（環太平洋経済連携協定）について、同協議会の岩永かずえ会長は「私たちは諦めず、心を一つにして力を結集し、国に断固反対と伝えていかなければならない」と力強く560人の

部員に呼び掛けました。

引き続き行われた「家の光記事活用体験発表」では、書類審査を通過した3名の発表がありました。

部員減少という悩みの打開策をテーマにしたJA阿寒女性部の菊池千恵子さんは『家の光』が部員を増やすきっかけに」と題し、様々な取り組みを発表。菊池さんの発表を聞いた当女性部の上原由紀子部長は「部員を増やすには時間を掛け、諦めないことが大切。きっかけを作って変えていくべき」と、行動に移すことへの大切さを感じていました。

同研修会では「農作業フ

アッションショー」が初めて開かれました。ショーには各地区の女性部員が工夫した帽子やエプロン、腕抜き、続き服などの仕事着50点を持ち寄りました。モデルも説明も部員自らが務め、ステージで思い思いのポーズをとって工夫をアピールしました。

2日目は工夫展示会を觀賞し、各女性部の出品者と積極的に交流を行う役員の姿も見られました。参加した役員の皆さんにとって、



▲道リーダー研修会に参加したJAきたみらい女性役員のみなさん

青年部

組織強化に 切磋琢磨

オホーツクJA青年部研修大会

オホーツクJA青年部協議会は11月17日と18日の2日間、温根湯温泉ホテル大江本家で第41回オホーツクJA青年部研修大会を開きました。

大会テーマを「切磋琢磨」と掲げ、15単組から約180名の部員が参加し、当青年部から本部・支部役員など57名が参加しました。

フレミズ

7競技に 珍プレーと笑い続出

ミニ運動会で会員間交流

JAきたみらいフレッシュミズは11月18日、北見市上ところ地区市民トレーニングセンターで「ミニ運動会」を行い、8支部の会員77人が綱

引きや各種リレー競技で熱戦を繰り広げました。設立当初から開かれている8支部統一活動「会員研修会」を行ってき

女性部の組織として、また個人としても様々な刺激を受けた2日間の研修会となりました。

青年女性ネットワーク

J A青年部の主張発表や基調講演、分科会としてホクレン北見支所と、5つのテーマを中心に意見交換などを行いました。また大会では、3つの実践事項の確認とTPP交渉参加反対に関する決議が採択されました。同協議会の中山和彦会長は「農業の根幹を揺るがすTPP交渉参加問題は、これからの反対運動を続けると同時に、我々も強い農業に向けて勉強や努力をしていかなければならない」と挨拶。

主張発表では、オホーツク網走青年部、サロマ青年部、きたみらい青年部の3単組が出席し、日頃の農作業などを通じて感じた将来への希望や意見、提言などを発表。当青年部から出場した仁義泰明さん（温根湯支部）は、「私と農業」と題して発表し、最優秀賞に選ばれました。

続いて行われた基調講演では、講師にオホーツク地域振興機構の抜山嘉友研究員を招き、「地場産物の利用拡大に向けた加工の取り組みについて」と題し、これまでに携わってきた特産品開発やご当地グルメを例に挙げながら、食を通じた町おこしなどや地域を元気にする取り組みについて話しました。

懇親会では、恒例の「アームレスリング大会」と「青年の歌カラオケ大会」が行われ、アームレスリング



▲オホーツク管内から180名の部員が参加して開かれた研修大会

▼主張発表で最優秀賞を受賞した仁義泰明さん



▲基調講演の講師を務めたオホーツク地域振興機構の抜山嘉友研究員

大会では、並居る強豪を抑え、上常呂支部の木村憲幸さんが優勝し、仁義さんと共に全道大会へ出場します。



▲会場内に掲示されたチームごとの得点表

▼選手宣誓した樺山支部長(右)と村上支部長



ましたが、平成21年から「ミニ運動会」に取り組んでいます。

参加した会員は「ドナルド」「グーフィー」「ミッキー」など6チームに分かれ、玉入れや綱引き、作業着お着替えリレーなど7種目を競い合いました。

ぶら下がった袋菓子をお口でとってゴールする「ミニ袋菓子食い競争」では、揺れたり滑ったりする袋菓子に会員の皆さんは悪戦苦闘。

競技終了後の懇親会では、運動会の話題や日頃の子育ての話題などで盛り上がり、短い時間でしたが会員間の相互交流が図られました。



▲風船を頬で挟みながらリレーする「風船運び」



▲10人の力が1本の綱に集まる「綱引き」



▲JAの坂下専務(右)の挨拶を聞くフレミズ本部役員のみなさん

▼関係者500人が参加して開かれたオホーツク集会
(網走市・エコセンター)

TPP交渉参加断固阻止 地域社会の崩壊許さない

網走市でオホーツク集会／札幌市で道民集会

オホーツク集会

オホーツク圏活性化期成会は11日、網走市のエコセンターで環太平洋経済連携協定（TPP）交渉参加に反対する「TPP交渉参加問題を考えるオホーツク集会」を開きました。管内の市町村長と議長でつくる同期成会が、オホーツク農業協同組合長会、北見地区農民連盟、北見管内漁業協同組合長会など8団体



と共に、関係者約500人（当JAから20人）が参加しました。

期成会会長の水谷洋一網走市長は「TPP交渉への参加は、農畜産物の関税撤廃はもとより、21分野の貿易自由化を目的としており、一次産業を中心に大きな影響を与える。地域に暮らす住民が一丸となって政府に訴えることが必要」と挨拶。

東京農大の長沢真史教授は基調講演で、TPPに参加したらどうなるのかなど、国民が知りたい情報を出していないことや、日本がTPPへの参加を表明すれば歓迎される。さらにAPEC開催地のハワイは、オバマ大統領の出身地で、大きな手土産になると指摘し、「政府が参加に向かわないよう国民世論を盛り上げよう」と会場に呼び掛けました。

オホーツク農業協同組合長会の向井正農夫副会長（JAサロマ組合長）は「既に食料の60%は海外に依存している日本が開国するのは、食料安全保障の放棄につながる」と強調し、「食料安全保障とオホーツクをはじめ地域経済の持続的発展実現のため

に、参加断固反対運動を続ける」と意見表明を行いました。

最後に「道民合意がないまま、関税撤廃を原則とするTPP交渉への参加を決して行わないよう政府に強く求める」との集会宣言を採択しました。

道民集会

11月4日、札幌市の共済ホールで「TPP交渉参加問題を考える道民集会」が開催され、経済団体や医療関係、消費、第一次産業の関係者など650人が参加しました。

農林水産業や地域経済、人々の暮らし、「日本の国のかたち」にまで影響を与えるTPPの課題を再確認しました。

高橋はるみ知事は「国民生活の影響に関する情報はほとんどない。道民の思いをしっかりと受け止め、オール北海道での取り組みを進めていく」と決意を述べました。

北海道大学の山口二郎教授は「この国のかたち、今、考える」と



▲オホーツク集会に参加したJAきたみらいの役員

題して基調講演。

山口教授は「TPPの背景には、アメリカの経済戦略がある。多国間の自由貿易ルールのように見えるが、アメリカの都合の良いルールをつくることだ」とアメリカの目論見を非難。さらに「TPPの再浮上を機会に、今、議論の蓄積が必要。TPPで問われているのは、日本の民主主義そのもの。日本の土台や仕組みをどうつくるかを語り合うことだ」と講演を結びました。

最後に集会宣言を採択し、交渉参加の是非を判断する政府に慎重な対応を求めることを確認しました。

ジャガイモ
新品種

「スノーマーチ」 消費者にアピール

甘みあつて優しい食感と好評

バレイショ新品種「スノーマーチ」を地元からの普及と消費を
目指した「フェスタ2011」が11月28日、北見市内のホテル黒
部で開かれ、地元消費者など約200人が集まって、スノーマー
チの特性を生かした料理を味わいました。

地域を代表する ジャガイモの一品種に

適している特長を 報告し、「フェスタ を機会に、100 〜150年という 長い年月を多くの 消費者に食べても らえるように、オ ホーツク地域に浸 透させ、そして全 国に発信したい」 と普及に欠ける思 いを熱く伝えまし た。



「熟成すると甘味が増す」と講演した
ビストロKUNNEPPUの石川修代表

2011
フェスタ

うオールマイティ
な食材。もちもち
した食感で風味も
あり、熟成するこ
とで甘みが増す品
種」と、調理の立
場から見た利点を
報告しました。

会場ではスノーマーチを使っ
たコロッケやクリームスープ、
デザートのタルトなどミニコー
ス料理4品が振る舞われました。
置戸町から参加した元同町学
校給食センターの佐々木十美さ
んは「クリームスープは特性が
生かされておいしかった」と話
し、さらに「今日初めてスノー
マーチを食べた人は、これから
がもっとおいしくなることを知
ってほしい」と呼び掛けていま
した。

スノーマーチの栽培は200
8年から訓子府町で始まり、当JA
管内の本年度作付面積は約10
年分は断続的な降雨などの影響を受け
ましたが、総収量は300トを見込
んでいます。

スノーマーチは12月1日から、市
内の量販店で販売が始まっています。
その外に、期間限定でスノーマー
チメニューが市内の「藩陽飯店」「ホ
テル黒部」「オホーツクピアファクト



▲消費者など200人が参加して開かれた「フェスタ2011」。左写真は、スノー
マーチも添えられた「オニオンポークのロースト アリスタ風」



リー」「レス
トランフィ
ョレ」「カ
ジュ
ワルレスト
ンマルシェ
」で提供さ
れています
是非、一度
お召し上が
り下さい。



「地元に浸透させ、全国に発信したい」と講演
したきたみらい馬鈴薯振興会の南博敏会長

オホーツク総合振興局、道立総合
研究機構北見農試、網走農業改良普
及センターが、スノーマーチが地域
を代表するジャガイモの一品種にな
ることを狙いに、初の試みとして開
催したものです。JAきたみらいも
共催し、本フェスタを全面的にパッ
クアップしました。

きたみらい馬鈴薯振興会の南博敏
会長は「スノーマーチへの想い」と
題して講演。土壌
病害虫に抵抗性を
持ち、煮崩れしに
くく肉じゃがや力
レーなどの煮物に

訓子府町で地場産品の料理を提供
する1日限りのレストラン「ビスト
ロKUNNEPPU」を続けている
石川修代表は「じゃがいも料理を通
して」と題し、「和洋中なんにでもあ

「長いも」贈り物にと大盛況

地元消費者など3500人来場

市内東三輪のサンドーム北見で11月12日、「長いも祭り&収穫感謝祭」を開き、地元消費者など約3500人の来場でにぎわいました。



▲長いもがたくさん積まれた台車を押すJA職員

JA上常呂地区事務所と上常呂長いも部会は一昨年まで、長いもまつりを共催してきましたが、昨年から会場を代えて収穫感謝祭と合わせ、きたみらい野菜振興会長いも部会も協力して開かれました。

開会に先立ち坂下専務は「ナガイモをはじめタマネギ、バレイショなどたくさんさんの越冬野菜を用意しました。安全・安心なきたみらい産の野菜を食べて下さい」とあいさつ。

また環太平洋経済連携協定（TPP）に関する政府の表明について「実

質的な参加表明とも言え、全国の民意を無視したものと、来場者に交渉参加反対の理解を求めました。

会場内には約45トのナガイモの他、タマネギ、バレイショ、ハクサイ、ニンジン、もち米、高級菜豆など30種類の農産物を販売。市内南町の浦野忠光さんは「本州の親戚は北見産のナガイモがおいし



▲希望の長いもを買い求め、レジ前に並ぶ消費者のみなさん

いと心待ちにしているので、宅急便で送りたい」と話し、10kg入りナガイモを8箱も購入し、発送伝票を書いていた。

迫力ある模擬訓練 機敏に対応

端野支店…金融窓口で

金融機関の犯罪が多様化しているなか、JAきたみらい端野支店で11月15日、北見警察署の協力を得て「防犯模擬訓練」を行いました。

当JAでは、一昨年の北見支店に続く2回目の模擬訓練です。

北見警察署員が銀行強盗の役に扮し、職員がどの様に対応すべきかを

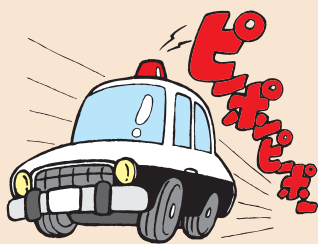
習得するものです。犯人役の署員も本物と違わぬ迫真の演技。訓練とは分かっているにもかかわらず、窓口担当職員は緊張していました。

訓練後、警察署員から「支店長を始め、職員が非常に高い意識を持っている」と講評をいただきました。

同店の清野新一支店長は「初めて

模擬訓練を体験する職員が多い中、強盗の迫力や予想に反した行動を体験することが出来ました。防犯体制項目を再チェックし、お客様に安心して利用いただける金融機関として役立てたい」と話していました。

JAでは、今後も年次計画を立て全支店で実施する予定です。



▲強盗に対する訓練が行われた端野支店



◀農家組合員がトラックで運び込んだフレコン

秋の農業用廃プラ

154トン回収

今年最後の農業用廃プラ回収が11月4日、7日、8日の3日間、西相内のJA小麦乾燥調製貯蔵施設で行われました。

廃棄物の中でも、一番取り扱いが厄介なものがプラスチックです。その処理については、環境問題に対する国民の関心が高まる中、クリーン農業を推進する観点からも適正な処理が求められています。JAでは毎年、農業用廃プラスチックの排出時期に合わせ、春（6月に実施）と秋を重点推進月間として回収作業に努めています。今回は農ポリ約135トン、農ビニ



▲山積みされたフレコン（農ポリが詰められています）

ール約12トン、農業空容器約7トンの計154トンを回収し、処理業者によって適正処分がされます。

白花豆の選別本格化

降雹や長雨、台風の影響で収量減

当JAの温根湯豆類調製工場で、全国一の生産量を誇る白花豆の選別作業が本格化しています。高級菜豆の白花豆は大きいもので長さが2.5センチほど。用途は煮豆、菓子あん、甘納豆などで、関東や関西、九州などに出荷されています。選別作業は10月24日から始まり、工場では調製後に大きさを重さで荒

選別した豆を、パート従業員19人が厳しくチェックします。汚れや変形がある豆などを手作業でより分けますが、この作業は来年1月まで続けられます。当JA管内では今年、60戸の生産者が150畝を作付けし、国内全体の約7割を占めます。6月の降雨や



▲コンベアで流れてくる白花豆を手際よくチェックするパート従業員

降雹、9月の台風の影響で、今年の総収量は平年を下回る約300トンを計画しています。

HBC

あぐり王国 北海道

毎週土曜日

ここ5:00~

JAグループ北海道提供

置き薬に初めて！ こども用かぜシロップ剤

小児用パブトンベビー

第3類医薬品

3ヶ月～7才のお子様に！

甘くて飲みやすい

パイナップル風

商品の特徴

副作用が少なく3ヶ月からのお子様も飲みます
葛根湯エキスとアセトアミノフェンの相乗効果！
安心なノンコデイン処方（麻薬性成分配合なし）

製品のお問い合わせ・お求めはJA配置薬推進員まで
近藤淳一 電話0157-36-2812
佐藤豊治 電話0157-61-2333

48mL/735円(税込)

生産者自らが

小学校に出前授業

豚汁作りなど指導…

訓子府町クリーン
農業推進協議会

クリーン農業に取り組む生産者でつくる訓子府町クリーン農業推進協議会は11月16日、町立訓子府小学校で出前授業を行いました。訓子府で「食べよう」と題し、地元農産物への関心を高めてもらうことが目的。

同協議会は1996年に発足し、町内の玉葱振興会の「有機栽培部会」や「減農薬研究会」、「くんねつぷフードプラン」、「米太郎倶楽部」など6つの生産組織で構成されています。

同校での出前授業は、5年生の総合学習の1つとして2005年から始まって今回で6回目。この日は協議会の斉藤博行会長ら9人が訪問。協議会の平田康弘副会長が玉葱の栽培から流通までを説明した後、児童55人とともに豚汁を作りました。

食材は同町で生産や製造された玉葱、馬鈴薯、ゴボウ、豚肉、味噌などを使用し、協議会のメンバーが米のとぎ方や野菜の切り方などを指導。玉葱を切った児童から「目にしみる」と涙を流しながら話していました。が、野菜や豚肉を炒めると香ばし



▲真剣に野菜の調理に励む児童のみなさん

い匂いが漂い、「早く食べたい」と待ち切れない様子でした。

小林唯月くんと三浦太矢くんは「野菜のもののしり博士になったみたい。豚汁はおいしかった」と笑顔。

斉藤会長は「今日の授業を機会に、もっと野菜に興味を持ってほしい」と期待の言葉を寄せていました。

脱穀ともみすり作業体験

北見市立
端野小学校
上常呂小学校

11月に総合学習の一環で、「はくちようもち」の脱穀やもみすり体験を行った両校を紹介します。

端野小学校

5年生55人の児童は11月4日、もち米「はくちようもち」の脱穀ともみすり体験を行いました。

2002年に校地内に11アの田んぼを作り、食べ物の大切さを学んでいます。6月に田植え、10月上旬に稲刈りやはき掛けをしました。



▲初めての脱穀作業に張り切る児童の皆さん

当日は端野町で農業を営む桜井慎一さんら3人の指導を受け、機械による脱穀と脱穀した粉のごみ飛ばしやもみすりまでの一連の作業を体験しました。

児童らは、天日干しされた稲穂の束を脱穀機に入れ、粉が次々ときれいになっていくのを見て、大きな歓声を上げていました。初めて脱穀を体験した金山翼くんは「きな粉餅にして食べたい」と喜びを表していました。約35キのもち米は、12月20日頃に校内で餅つきを行い、父母の方々と試食を予定しています。

上常呂小学校

3、4年生44人の児童は11月9日、脱穀やもみすり作業を体験し、「一粒一粒を大事に」と、食の大切さを学びました。今年は6月に全校児童が参加して田植え、9月下旬には稲刈りやはき掛けを体験しました。

この日は、水田の一部を提供している河野菜さんの指導で、機械での脱穀、脱穀した粉のごみ飛ばし、粉すりなど一連の作業に取り組み、父母十数人も手伝っていました。

収穫量を60キと見込む同校は、12

第10回

理事会報告

●平成23年11月25日（金）

11月25日、午前9時30分より第10回定例理事会を開催し、報告事項11件、議決事項8件、協議事項1件が協議され、原案通り承認されました。

【報告事項】

- ①組合員状況報告について
- ②財務状況報告及び決算見込みについて
- ③訴訟案件について
- ④馬鈴薯施設整備検討委員会答申について
- ⑤第2回長いもまつり・収穫感謝祭実績について
- ⑥平成23年産玉葱・馬鈴薯選果状況について
- ⑦平成23年産小麦概算精算について
- ⑧平成22年産白花豆・紫花豆共計本精算について
- ⑨平成23年産もち米生産実績について
- ⑩平成23年産てん菜集荷状況について
- ⑪生乳生産状況及び個体取引価格状況について

【議決事項】

- ①出資増減口及び持分譲渡について
- ②固定資産の取得及び処分について
- ③諸規程の改正について
- ④年末手当の支給について
- ⑤第2回臨時総代会の開催及び提出議案について
- ⑥貸付金利息の期中還元について
- ⑦平成24年度馬鈴薯集出荷施設再編計画について
- ⑧平成24農業年度事業推進方針について

【協議事項】

- ①次期役員改選、総代選挙に向けた対応について

第2回起業活動レベルアップ研修会のお知らせ

「起業活動における経営管理の基礎」をテーマに、次の通り研修会を開催致しますので、多数の参加をお待ちしています。

○日 時 平成24年1月12日（木）13:30～15:30
○場 所 網走農業改良普及センター（研修室）
090-0008 北見市大正320番地8
TEL 0157-36-1241 FAX 0157-36-0016

○研修内容 【講 演】
「わたしと起業活動」
講師 旭川市 農業栄養士 高倉 晴美氏
【講義・演習】
「マネージメントの重要性・簡単にできる原価計算」
講師 網走農業改良普及センター普及指導員

○参加申込 平成23年12月20日（火）まで
○申込方法 FAXで住所、氏名、個人・グループ名を記入の上、網走農業改良普及センターまでお知らせ下さい。

平成24年度 北海道立農業大学校学生募集中

道立農業大学校では、平成24年度の学生募集を11月14日より行っています。同校は、①プロジェクトを主体とした実践的学習 ②先進農家体験学習と海外視察研修 ③各種資格・免許の取得 ④多くの仲間との絆の形成 ⑤卒業後に農業分野での活躍 ⑥高度な経営管理の習得 ⑦農業系大学などの編入学可能など、様々な特色があります。

関心をお持ちの方は、出願手続きは平成24年2月21日までとなっておりますので、次のところにお問合せ下さい。

■お問い合わせ先■

北海道立農業大学校 教務部教務課
TEL 0156-24-2122

なお、同校のホームページでも案内しています。
(<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ns/ngd/>)

あなたのライフプラン
応援します

冬貯金キャンペーン

募集期間 平成23年
11月1日（火）～12月30日（金）

期間中の定期貯金の
適用利率

スーパー定期・大口定期
3年・4年・5年 **0.5%** 固定
1年・2年 **0.2%**

お取組条件 新設で10万円以上お預入されたは、満期繰上時は10万円以上の増額贈答を対象とします。

※お取組対象：個人の方に限ります。
※贈答の金額：スーパー定期1年・大口定期1年以上
※そのほか：スーパー定期自動繰上時、組合口座への振込み入金は対象となります。満期日時に解約する場合は、当組合が定めた中途解約利率となります。お利率には20%の税金がかかります。貯金保険制度の対象商品です。
※上乗せ金利は前回の満期日までといたします。

詳しくは、お気軽にJAバンク窓口までお問い合わせ下さい。

JAきたみらい

本店	旭川市旭川1丁目1番9号 TEL 0157-22-1440	網走支店	網走市旭川1丁目1番9号 TEL 0157-22-1440
温根湯支店	温根湯町旭川1丁目1番9号 TEL 0157-46-2350	相内支店	相内町旭川1丁目1番9号 TEL 0157-46-2350
留辺蘆支店	留辺蘆町旭川1丁目1番9号 TEL 0157-46-2350	上常呂支店	上常呂町旭川1丁目1番9号 TEL 0157-46-2350
置戸支店	置戸町旭川1丁目1番9号 TEL 0157-46-2350	端野支店	端野町旭川1丁目1番9号 TEL 0157-46-2350

月に餅つきや給食でおこわにして全児童で食べる予定。3年生の岩崎菜緒ちゃんは「餅つきが楽しみ。きな粉餅にして食べたい」と話し、笑顔を見せてくれました。

8年間、田植えや稲刈り、脱穀作業などを指導してきた河野さんの水田も明年は畑作に転換。

奥山教頭は「長い間お世話になったことに感謝しています」とお礼を述べ、「学校近くの農家に協力と理解を得



▲生産者の指導を受けながら脱穀作業に取り組む児童

で、子どもたちのためにも体験学習を続けられるよう努力したい」と話してくれました。



【材料：4人分】

カジキマグロ4切れ
アサリ（砂出ししてあるもの）.....300g
タマネギ1個
A トマトジュース（無塩）...2缶(380ml)
酒・みりん各大さじ2杯
ショウガ（すりおろす）.....1かけ分
みそ大さじ1杯
塩 コショウ オリーブオイル バジル

カジキとアサリのみそトマト煮込み

【エネルギー202kcal・塩分1.5g・調理時間20分】

【作り方】

- ①カジキは塩・コショウ各少々を両面にふる。アサリは殻ごとすり洗いし、よくすすいで水けを切る。タマネギは縦半分にし、繊維に沿って薄切りにする。
- ②フライパンにオリーブオイル大さじ1杯を熱し、強火でカジキの両面を焼いて取り出し、タマネギを入れて1分ほど炒め、しんなりしたところでアサリを加える。カジキを戻し、Aを加えてひと混ぜし、ふたをして中火で3分ほど煮る。
- ③アサリの口が開いたらショウガを加え、みそを溶き入れて軽く混ぜ、ひと煮たちさせ、火を止める。
- ④器に盛り、バジル適量を飾る。

一家の光2011年10月号料理カードからー
調理：本田よう一



【材料：4人分】

ニンジン150g
カイワレダイコン2把
溶き卵2個分
酒大さじ2杯
A 鶏がらスープの素大さじ1杯
砂糖小さじ1 1/2杯
塩小さじ1/2杯
しょうゆ・ゴマ油各小さじ1/2杯
塩 コショウ

おろしニンジンのかきたまスープ

【エネルギー80kcal・塩分1.9g・調理時間10分】

【作り方】

- ①ニンジンは皮ごとすりおろす。カイワレダイコンは根元を切って水洗いし、水けを切る。
- ②鍋に水4 1/2カップ、Aを入れ、ひと煮たちさせたところにニンジンを入れ、中火で2分ほど煮てあくが出たら取り除く。
- ③溶き卵をゆっくり回し入れ、火を止める。
- ④カイワレダイコンを入れて、ひと混ぜしてふたたび火にかけ、塩・コショウ各少々で味をととのえ、しょうゆ、ゴマ油を加え混ぜ、器に盛る。

一家の光2011年10月号料理カードからー
調理：本田よう一

編集後記

- ・今年1年間を振り返ると、誰しもが真っ先に3月11日に発生した「東日本大震災」を思い浮かべるのではないのでしょうか。「がんばろう日本!」を合言葉に、再建復興に向けて取り組まれています。9ヶ月を経過した現在でも、先が見えない状況下にあります。
- ・岩手県・宮城県・福島県の地域住民の皆さんは、大きな厄災に見舞われながらも住民同士が互いに励ましあい、支えあいながら頑張っています。この姿は、長い年月の積み重ねから、普段の何気ない暮らしの中で培われてきた地域の大切な習慣の証で、絆とも言えます。
- ・農業も今、TPP問題で揺るがされています。この様な時こそ農業関係者も強い絆のもとに、この難題を打破していくことが大事ではないでしょうか。最後に、今年1年間のご愛読にお礼を申し上げますと共に、組合員皆さんがご家族お揃いで良き新年をお迎えすることを祈念し、今年最後の編集後記とします。

(堀 仁志)

JAきたみらい概要

(平成23年11月20日現在)

- ・組合員数(正) 1,844人
- ・組合員数(准) 5,948人
- ・組合員戸数(正) 1,257戸
- ・貯金 104,907百万円
- ・貸出金 19,307百万円
- ・出資金 5,082百万円